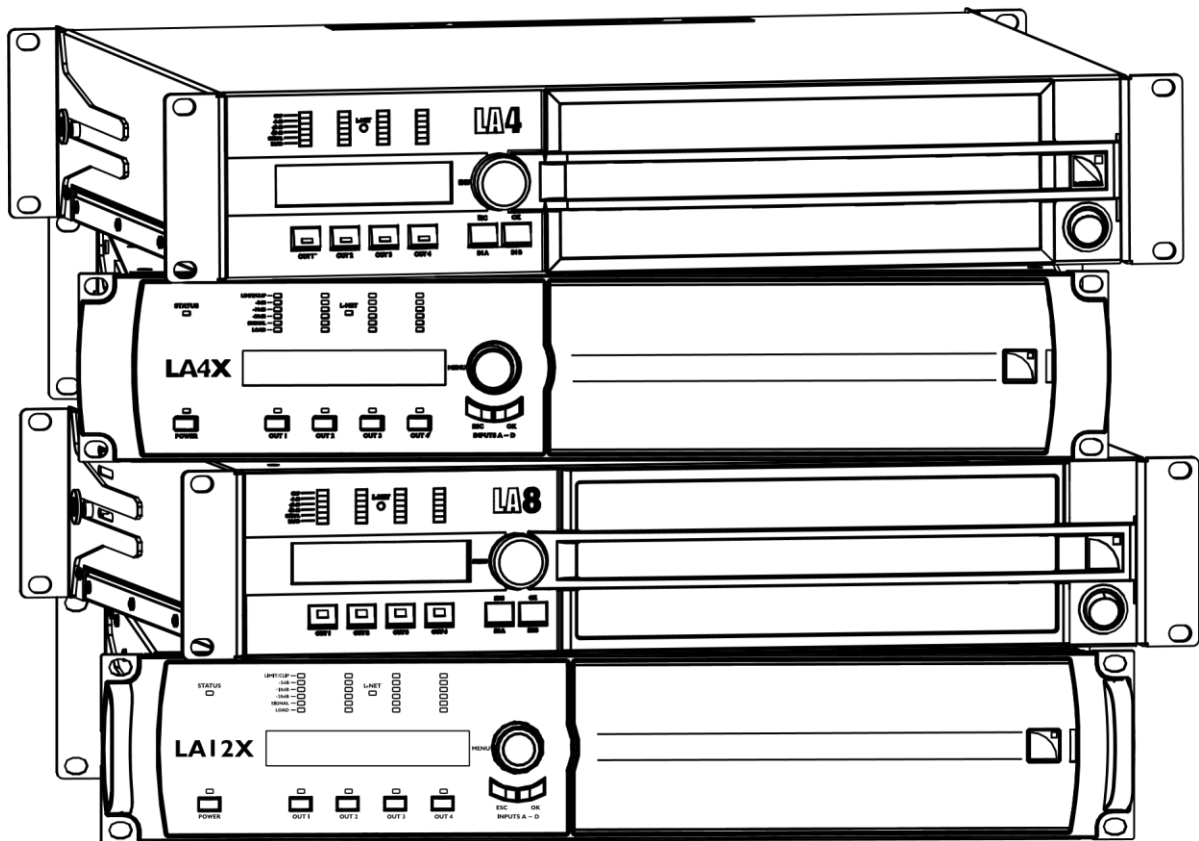


プリセットライブラリー



プリセットガイド（日本語）



Document reference: Preset libraries preset guide (EN) version 10.1

Distribution date: October 12, 2018

© 2018 L-Acoustics. All rights reserved.

No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means without the express written consent of the publisher.

目次

はじめに	5
プリセット デザイン.....	5
オンボードプリセットライブラリー.....	7
LA4 プリセットライブラリー	7
LA4X プリセットライブラリー	11
LA8 プリセットライブラリー	14
LA12X プリセットライブラリー	20
フラットプリセット.....	24
可変曲率 WST システム プリセット.....	25
K1	25
K2	27
Kudo	28
KARA	30
KIVA II.....	31
KIVA SB15m.....	32
Kiva Kilo	33
V-DOSC.....	35
dV-DOSC.....	37
定曲率 WST システム プリセット.....	39
ARCS II	39
ARCS WIDE / ARCS FOCUS	40
ARCS	41
コリニアソースシステム プリセット	42
Syva	42
同軸スピーカーエンクロージャー プリセット.....	44
X15 HiQ.....	44
X12.....	46
X8	48
5XT.....	50
8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP	51
12XTA、115XT HiQ、MTD115bA、115XT	52

サブウーハーエンクロージャー プリセット.....	53
プリアライメントディレイ値	55
可変曲率 WST システム	56
定曲率 WST システム.....	63
コリニアシステム	64
同軸スピーカーエンクロージャー.....	64
アンプリファイドコントローラーごとのエンクロージャードライブ能力	69
LA4 アンプリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数.....	69
LA4X アンプリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数.....	70
LA8 アンプリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数.....	72
LA12X アンプリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数.....	74

始めに

L-acoustics アンブリファイドコントローラーにはオンボードファームウェアとプリセットライブラリーが提供されます。

オンボードライブラリー上のプリセットは、アンブリファイドコントローラーのフロントパネル、または LA NETWORK MANAGER からロードします。(LA NETWORK MANAGER は L-acoustics アンブリファイドコントローラーをネットワークからリモートコントロール・モニタリング可能な専用マネージメントツール・ソフトウェアアプリケーションです。)

L-acoustics アンブリファイドコントローラーのファームウェアアップデートは LA NETWORK MANAGER が必須です。最新のプリセットライブラリーはファームウェアとともに自動でインストールされます。ライブラリー、ファームウェア、ソフトウェアの最新版は L-acoustics のウェブサイトをご確認ください。



L-acoustics アンブリファイドコントローラーの操作

LA4、LA4X、LA8、LA12X、LA-RAK、LA-RAK II のユーザーマニュアルを参照してください。

LA Network Manager ソフトウェアのインストール

LA アンブリファイドコントローラーリリースパックをダウンロードし、リードミーファイルを参照してください。

L-acoustics アンブリファイドコントローラーのファームウェアアップデート

ソフトウェアに内包されている LA Network Manager ビデオチュートリアルを参照してください。

本書は LA4、LA4X、LA8、LA12X のプリセットライブラリーバージョン 6.0(.0)について説明します。

プリセット デザイン

ゲインストラクチャー

L-acoustics のすべてのファクトリープリセットのゲインは、音楽信号に類似したピンクノイズを基準信号としてキャリブレートされています。基準入力レベルはアナログ信号で **0 dBu**、デジタル信号で **-22 dBfs** です。

このレベルの信号を L-acoustics アンブリファイドコントローラーに入力すると、L-acoustics スピーカーエンクロージャーは 8 dB のヘッドルームをサウンドエンジニアに提供します。例外として小型スピーカーは 4 dB のヘッドルームにキャリブレートされています。(MTD108a、5XT、X8、8XT、KIVA、KILO)

このゲインストラクチャーにより、同じフォーマット（現場）で様々なタイプのエンクロージャーを使用するケースで L-acoustics システムのパワーリソース管理が容易になります。デフォルトの出力ゲイン設定（0 dB）であれば、すべてのエンクロージャーが同じプログラムレベルでリミットをむかえます。小型フォーマットのエンクロージャーを大型フォーマットのエンクロージャーと一緒に使うケースでは、小型フォーマットエンクロージャーに -4 dB のゲイン調整を適用します。



SB15m のヘッドルーム

SB15m のプリセットである [SB15_100] と [SB15_100_C] のヘッドルームは、プリセットライブラリー 5.6(.5) から 8 dB に変更しました。ハイブリットプリセット [KIVA_SB15]、または以前のバージョンのプリセットを使用する場合のヘッドルームは 4 dB となります。

K1-SB、KS28、SB28、SB18、SB218、SB118 のヘッドルーム

古いバージョンのプリセットライブラリーを用いているセッションファイルのプリセットを更新した場合、同じゲインを確保するにはつぎの調整をしてください。

[SB28_60]、[SB218_60] : + 4 dB

[KS28_60]、[SB28_100]、[SB18_60]、[SB18_100]、[SB218_100]、[SB118_60]、[SB118_100] : + 3 dB

[KS28_100] : + 2 dB

[K1SB_60] : + 1 dB

エレクトロ-アコースティック カップリング

推奨スピーカー構成に対して定められたプリセットを用いることにより、特定の放射パターンを持つコヒレントな音源となります。

L-acoustics ファクトリープリセットは、アクティブエンクロージャーの内部や、様々なスピーカーエンクロージャーを組み合わせた際に存在する「異なるトランスデューサーセクション間のカップリング」を確実にします。

既定のチャンネルセットに対して、ファクトリー設定上のプリセットパラメーターをユーザーが調整できます。

いくつかの特定のスピーカー構成用のプリセットと、アクティブスピーカーのプリセットに対してチャンネルセットを定めています。適切な出力チャンネルの組み合わせに対してルーティング、ゲイン、ディレイのパラメーターをリンクすることでコヒレントなカップリングが維持されます。例えば、[LF HF]は2ウェイエンクロージャー用プリセットのチャンネルセットです。また、[SR SB SB SB]はカーディオイドサブウーハー用プリセットのチャンネルセットです。

本書はL-acoustics プロダクトファミリーを区分し、システムごとの推奨スピーカー構成と、適合するファクトリープリセット、得られる音響的な特性を一覧で示します。

サブウーハーの「近接」と「分離」に関する制限は、該当するシステムのユーザーマニュアルを参照してください。

いくつかのエンクロージャーを組み合わせるケースではタイムアライメントのためにディレイ値の調整が必要です。詳細は[ブリアライメントディレイ値](#)のセクションを確認してください。

周波数レスポンスコンター

同軸スピーカーエンクロージャーであるXシリーズには2つの異なるコンターがあります。

- 標準プリセット：ステージモニターを除くすべてのアプリケーション向け。
- MO プリセット：ステージモニターアプリケーション向け。

旧タイプの同軸スピーカーエンクロージャー（XT、MTD シリーズ）には3つの異なるコンターがあります。

- FR プリセット：一般的な FOH アプリケーション向け
- FI プリセット：フィルシステム、ジャズ、クラシック音楽、スピーチ向け。
- MO プリセット：1/2 自遊空間（スピーカーをフロア置くことを想定）におけるモニターアプリケーション向け。

現行の WST システムには1つまたは2つの異なるコンターがあります。

- メインのプリセット：一般的な配列のラインソースにおいて基準的な FOH コンター
- FI プリセット：当該スピーカーエンクロージャーをフィルシステムで使用する際に適したコンター（一部のシステムのみ）

従来の WST システムは従来のプリセット構成を引き継いでいます。（_HI と _LO のプリセット）

ユーザーは必要に応じて LA NETWORK MANAGER のコンターEQ ツールでシステムの音色を調整できます。

WST システムのレスポンス調整には2種類のアレイモーフィングツール（ズームファクターと LF コンター）を用います。これにより基準聴取距離やラインソース長に関わらず、異なるソース（アレイ）の音色を統一させることができます。（聴取距離が近いイメージ・遠いイメージ）（ライン長が短いイメージ・長いイメージ）詳細は LA NETWORK MANAGER のビデオチュートリアルとアレイモーフィング解説書を参照してください。

オンボードプリセットライブラリー

オンボードプリセットライブラリーは、適応するアンプリファイドコントローラーのドライブ能力と L-acoustics スピーカーエンクロージャーが必要とするパワーのマッチングがとられています。

アンプリファイドコントローラーの最大出力

タイプ	負荷	8 Ω	4 Ω	2.7 Ω
LA12X		4 x 1400 W	4 x 2600 W	4 x 3300 W
LA8		4 x 1100 W	4 x 1800 W	
LA4X		4 x 1000 W		適応外
LA4		4 x 800 W	4 x 1000 W	適応外

LA4 プリセットライブラリー

LA4 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 055 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA4 プリセットライブラリー 6.0

KIVA

011	[KIVA]	KIVA、フルレンジ、フロントオブハウス
012	[KIVA_FI]	KIVA、フルレンジ、フィル

SB15KIVA

013	[KIVA_SB15]	KIVA & SB15m、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	---

KIVAKILO

014	[KIVA_KILO]	KIVA & KILO、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	--

ARCS

015	[ARCS_LO]	ARCS、フルレンジ、LO コンター
016	[ARCS_LO_60]	ARCS、HPF = 60 Hz、LO コンター
017	[ARCS_LO_100]	ARCS、HPF = 100 Hz、LO コンター
018	[ARCS_HI]	ARCS、フルレンジ、HI コンター
019	[ARCS_HI_60]	ARCS、HPF = 60 Hz、HI コンター
020	[ARCS_HI_100]	ARCS、HPF = 100 Hz、HI コンター

ARCS_WF

021	[ARCS_WIFO]	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フロントオブハウス
022	[ARCS_WIFO_FI]	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フィル

SB18

023	[SB18_60]	SB18、LPF = 60 Hz
024	[SB18_100]	SB18、LPF = 100 Hz
025	[SB18_60_C]	SB18、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
026	[SB18_100_C]	SB18、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB118

027	[SB118_60]	SB118、LPF = 60 Hz
028	[SB118_100]	SB118、LPF = 100 Hz
029	[SB118_60_C]	SB118、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
030	[SB118_100_C]	SB118、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

031	[SB15_100]	SB15、LPF = 100 Hz
032	[SB15_100_C]	SB15、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

KILO

033	[KILO]	KILO、LPF = 100 Hz
-----	--------	-------------------

12XTA

034	[12XTA_FI]	12XT、アクティブ、フルレンジ、フィル
035	[12XTA_FI_100]	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
036	[12XTA_FR]	12XT、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
037	[12XTA_FR_100]	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
038	[12XTA_MO]	12XT、アクティブ、フルレンジ、モニター
039	[12XTA_MO_100]	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTP

040	[12XTP_FI]	12XT、パッシブ、フルレンジ、フィル
041	[12XTP_FI_100]	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
042	[12XTP_FR]	12XT、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
043	[12XTP_FR_100]	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
044	[12XTP_MO]	12XT、パッシブ、フルレンジ、モニター
045	[12XTP_MO_100]	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

8XT

046	[8XT_FI]	8XT、フルレンジ、フィル
047	[8XT_FI_100]	8XT、HPF = 100 Hz、フィル
048	[8XT_FR]	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
049	[8XT_FR_100]	8XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
050	[8XT_MO]	8XT、フルレンジ、モニター
051	[8XT_MO_100]	8XT、HPF = 100 Hz、モニター

5XT

052	[5XT]	5XT、フルレンジ
-----	-------	-----------

115XT

053	[115XT_FI]	115XT、フルレンジ、フィル
054	[115XT_FI_100]	115XT、HPF = 100 Hz、フィル
055	[115XT_FR]	115XT、フルレンジ、フロントオブハウス
056	[115XT_FR_100]	115XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
057	[115XT_MO]	115XT、フルレンジ、モニター
058	[115XT_MO_100]	115XT、HPF = 100 Hz、モニター

MTD115bA

059	[115bA_FI]	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、フィル
060	[115bA_FI_100]	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
061	[115bA_FR]	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
062	[115bA_FR_100]	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
063	[115bA_MO]	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、モニター
064	[115bA_MO_100]	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

MTD115bP

065	[115bP_FI]	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、フィル
066	[115bP_FI_100]	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
067	[115bP_FR]	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
068	[115bP_FR_100]	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
069	[115bP_MO]	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、モニター
070	[115bP_MO_100]	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

112XT

071	[112XT_FI]	112XT、フルレンジ、フィル
072	[112XT_FI_100]	112XT、HPF = 100 Hz、フィル
073	[112XT_FR]	112XT、フルレンジ、フロントオブハウス
074	[112XT_FR_100]	112XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
075	[112XT_MO]	112XT、フルレンジ、モニター
076	[112XT_MO_100]	112XT、HPF = 100 Hz、モニター

MTD112b

077	[112b_FI]	MTD112b、フルレンジ、フィル
078	[112b_FI_100]	MTD112b、HPF = 100 Hz、フィル
079	[112b_FR]	MTD112b、フルレンジ、フロントオブハウス
080	[112b_FR_100]	MTD112b、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
081	[112b_MO]	MTD112b、フルレンジ、モニター
082	[112b_MO_100]	MTD112b、HPF = 100 Hz、モニター

MTD108a

083	[108a_FI]	MTD108a、フルレンジ、フィル
084	[108a_FI_100]	MTD108a、HPF = 100 Hz、フィル
085	[108a_FR]	MTD108a、フルレンジ、フロントオブハウス
086	[108a_FR_100]	MTD108a、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
087	[108a_MO]	MTD108a、フルレンジ、モニター
088	[108a_MO_100]	MTD108a、HPF = 100 Hz、モニター

FLAT

089	[FLAT_LA4]	EQ フラット、アンプクリップを防止する最低限の保護
-----	------------	----------------------------

LA4X プリセットライブラリー

LA4X オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 057 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA4X プリセットライブラリー6.0

K2

011	K2	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
012	K2 90	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
013	K2 110	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

KUDO

014	KUDO50_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 50°設定
015	KUDO50_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 50°設定
016	KUDO50_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 50°設定
017	KUDO80_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 80°設定
018	KUDO80_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 80°設定
019	KUDO80_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 80°設定
020	KUDO110_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 110°設定
021	KUDO110_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 110°設定
022	KUDO110_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 110°設定

KARA

023	KARA	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
024	KARA_FI	KARA、HPF = 100 Hz、フィル
025	KARADOWNK1	KARA、HPF = 100 Hz、K1 のダウンフィルとしてのディレイを組込み済み
026	KARADOWNK2	KARA、HPF = 100 Hz、K2 のダウンフィルとしてのディレイを組込み済み

KIVA II

027	KIVA II	KIVA II フルレンジ、フロントオブハウス
028	KIVA II_FI	KIVA II フルレンジ、フィル

KIVA

029	KIVA	KIVA フルレンジ、フロントオブハウス
030	KIVA_FI	KIVA フルレンジ、フィル

SB15KIVA

031	KIVA_SB15m	KIVA & SB15m、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	------------	---

KILOKIVA

032	KIVA_KILO	KIVA & KILO、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	-----------	--

ARCS_II

033	ARCS_II	ARCS II、フルレンジ
-----	---------	---------------

ARCS_WF

034	ARCS_WIFO	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フロントオブハウス
035	ARCS_WIFO_FI	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フィル

SB18

036	SB18_60	SB18、LPF = 60 Hz
037	SB18_100	SB18、LPF = 100 Hz
038	SB18_60_C	SB18、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
039	SB18_100_C	SB18、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

040	SB15_100	SB15、LPF = 100 Hz
041	SB15_100_C	SB15、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

KILO

042	KILO	KILO、LPF = 100 Hz
-----	------	-------------------

SYVA

043	SYVA	SYVA、フルレンジ
-----	------	------------

SYVA_LOW

044	SYVA_LOW_100	SYVA LOW (セパレート)、LPF = 100 Hz
-----	--------------	-------------------------------

SYVA+LOW

045	SYVA_LOW_SYVA	SYVA & SYVA LOW (近接)
-----	---------------	----------------------

SYVA_SUB

046	SYVA_SUB_100	SYVA SUB、LPF = 100 Hz
-----	--------------	-----------------------

X15HiQ

047	X15	X15 HiQ、フルレンジ
048	X15_MO	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

049	X12	X12、フルレンジ、
050	X12_MO	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

051	X8	X8、フルレンジ、
052	X8_MO	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

053	HIQ_FI	115XTHiQ、フルレンジ、フィル
054	HIQ_FI_100	115XTHiQ、LPF = 100 Hz、フィル
055	HIQ_FR	115XTHiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
056	HIQ_FR_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
057	HIQ_MO	115XTHiQ、フルレンジ、モニター
058	HIQ_MO_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTA

059	12XTA_FI	12XT、アクティブ、フルレンジ、フィル
060	12XTA_FI_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
061	12XTA_FR	12XT、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
062	12XTA_FR_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
063	12XTA_MO	12XT、アクティブ、フルレンジ、モニター
064	12XTA_MO_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTP

065	12XTP_FI	12XT、パッシブ、フルレンジ、フィル
066	12XTP_FI_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
067	12XTP_FR	12XT、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
068	12XTP_FR_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
069	12XTP_MO	12XT、パッシブ、フルレンジ、モニター
070	12XTP_MO_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

8XT

071	8XT_FI	8XT、フルレンジ、フィル
072	8XT_FI_100	8XT、HPF = 100 Hz、フィル
073	8XT_FR	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
074	8XT_FR_100	8XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
075	8XT_MO	8XT、フルレンジ、モニター
076	8XT_MO_100	8XT、HPF = 100 Hz、モニター

5XT

077	5XT	5XT、フルレンジ
-----	-----	-----------

FLAT

078	FLAT_LA4X	EQ フラット、アンプクリップを防止する最低限の保護
-----	-----------	----------------------------

LA8 プリセットライブラリー

LA8 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 149 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA8 プリセットライブラリー6.0

K1

011	K1	K1、フルレンジ
-----	----	----------

K2

012	K2	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
013	K2 90	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
014	K2 110	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K1-SB

015	K1SB_60	K1-SB、LPF = 60 Hz、コンター構成に最適化
016	K1SB_X	K1-SB、LPF = 200 Hz、K1 との組み合わせによるスロー構成に最適化
017	K1SB_X K2	K1-SB、LPF = 200 Hz、K2 との組み合わせによるスロー構成に最適化

V-DOSC

018	V-DOSC_LO	V-DOSC、フルレンジ、LO コンター
019	V-DOSC_LO_60	V-DOSC、HPF = 60 Hz、LO コンター
020	V-DOSC_LO_X	V-DOSC、フルレンジ、LO コンター、[SB218_X]と[dV-S_X]に最適化
021	V-DOSC_HI	V-DOSC、フルレンジ、HI コンター
022	V-DOSC_HI_60	V-DOSC、HPF = 60 Hz、HI コンター
023	V-DOSC_HI_X	V-DOSC、フルレンジ、HI コンター、[SB218_X]と[dV-S_X]に最適化

KUDO

024	KUDO50_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 50°設定
025	KUDO50_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 50°設定
026	KUDO50_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 50°設定
027	KUDO80_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 80°設定
028	KUDO80_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 80°設定
029	KUDO80_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 80°設定
030	KUDO110_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 110°設定
031	KUDO110_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 110°設定
032	KUDO110_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 110°設定

KARA

033	KARA	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
034	KARA_FI	KARA、HPF = 100 Hz、フィル
035	KARADOWNK1	KARA、HPF = 100 Hz、K1 のダウンフィルとしてのディレイを組み込み済み
036	KARADOWNK2	KARA、HPF = 100 Hz、K2 のダウンフィルとしてのディレイを組み込み済み

dV-DOSC

037	dV_FI	dV-DOSC、HPF = 100 Hz、フィル
038	dV_LO	dV-DOSC、フルレンジ、LO コンター
039	dV_LO_100	dV-DOSC、HPF = 100 Hz、LO コンター
040	dV_HI	dV-DOSC、フルレンジ、HI コンター
041	dV_HI_100	dV-DOSC、HPF = 100 Hz、HI コンター

dV-D_dvs

042	dV_dV-S_LO	dV-DOSC と dV-SUB、クロスオーバー = 100 Hz、LO コンター
043	dV_dV-S_HI	dV-DOSC と dV-SUB、クロスオーバー = 100 Hz、HI コンター
044	dV_dV-S_LO60	dV-DOSC と dV-SUB、HPF = 60 Hz、クロスオーバー = 100 Hz、LO コンター
045	dV_dV-S_HI60	dV-DOSC と dV-SUB、HPF = 60 Hz、クロスオーバー = 100 Hz、HI コンター

dV-SUB

046	dV-S_60_100	dV-SUB、HPF = 60 Hz、LPF = 100 Hz
047	dV-S_100	dV-SUB、LPF = 100 Hz
048	dV-S_60_X	dV-SUB、HPF = 60 Hz、LPF = 200 Hz、[V-DOSC_xx_60]に最適化
049	dV-S_X	dV-SUB、LPF = 200 Hz、[V-DOSC_xx_X]に最適化

ARCS_II

050	ARCS_II	ARCS II、フルレンジ
-----	---------	---------------

ARCS

051	ARCS_LO	ARCS、フルレンジ、LO コンター
052	ARCS_LO_60	ARCS、HPF = 60 Hz、LO コンター
053	ARCS_LO_100	ARCS、HPF = 100 Hz、LO コンター
054	ARCS_HI	ARCS、フルレンジ、HI コンター
055	ARCS_HI_60	ARCS、HPF = 60 Hz、HI コンター
056	ARCS_HI_100	ARCS、HPF = 100 Hz、HI コンター

ARCS_WF

057	ARCS_WIFO	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フロントオブハウス
058	ARCS_WIFO_FI	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フィル

SB28

059	SB28_60	SB28、LPF = 60 Hz
060	SB28_100	SB28、LPF = 100 Hz
061	SB28_60_C	SB28、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
062	SB28_100_C	SB28、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB218

063	SB218_60	SB218、LPF = 60 Hz
064	SB218_100	SB218、LPF = 100 Hz
065	SB218_X	SB218、LPF = 200 Hz、[V-DOSC_xx_X]に最適化

SB18

066	SB18_60	SB18、LPF = 60 Hz
067	SB18_100	SB18、LPF = 100 Hz
068	SB18_60_C	SB18、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
069	SB18_100_C	SB18、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB118

070	SB118_60	SB118、LPF = 60 Hz
071	SB118_100	SB118、LPF = 100 Hz
072	SB118_60_C	SB118、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
073	SB118_100_C	SB118、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

074	SB15_100	SB15、LPF = 100 Hz
075	SB15_100_C	SB15、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

KILO

076	KILO	KILO、LPF = 100 Hz
-----	------	-------------------

KIVA II

077	KIVA II	KIVA II フルレンジ、フロントオブハウス
078	KIVA II_FI	KIVA II フルレンジ、フィル

KIVA

079	KIVA	KIVA フルレンジ、フロントオブハウス
080	KIVA_FI	KIVA フルレンジ、フィル

SB15KIVA

081	KIVA_SB15m	KIVA & SB15m、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	------------	---

KILOKIVA

082	KIVA_KILO	KIVA & KILO、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	-----------	--

SYVA

083	SYVA	SYVA、フルレンジ
-----	------	------------

SYVA_LOW

084	SYVA LOW_100	SYVA LOW (セパレート)、LPF = 100 Hz
-----	--------------	-------------------------------

SYVA+LOW

085	SYVA LOW SYVA	SYVA & SYVA LOW (近接)
-----	---------------	----------------------

SYVA_SUB

086	SYVA SUB_100	SYVA SUB、LPF = 100 Hz
-----	--------------	-----------------------

X15HiQ

087	X15	X15 HiQ、フルレンジ
088	X15_MO	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

089	X12	X12、フルレンジ、
090	X12_MO	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

091	X8	X8、フルレンジ、
092	X8_MO	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

093	HIQ_FI	115XTHiQ、フルレンジ、フィル
094	HIQ_FI_100	115XTHiQ、LPF = 100 Hz、フィル
095	HIQ_FR	115XTHiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
096	HIQ_FR_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
097	HIQ_MO	115XTHiQ、フルレンジ、モニター
098	HIQ_MO_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTA

099	12XTA_FI	12XT、アクティブ、フルレンジ、フィル
100	12XTA_FI_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
101	12XTA_FR	12XT、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
102	12XTA_FR_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
103	12XTA_MO	12XT、アクティブ、フルレンジ、モニター
104	12XTA_MO_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTP

105	12XTP_FI	12XT、パッシブ、フルレンジ、フィル
106	12XTP_FI_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
107	12XTP_FR	12XT、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
108	12XTP_FR_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
109	12XTP_MO	12XT、パッシブ、フルレンジ、モニター
110	12XTP_MO_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

8XT

111	8XT_FI	8XT、フルレンジ、フィル
112	8XT_FI_100	8XT、HPF = 100 Hz、フィル
113	8XT_FR	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
114	8XT_FR_100	8XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
115	8XT_MO	8XT、フルレンジ、モニター
116	8XT_MO_100	8XT、HPF = 100 Hz、モニター

5XT

117	5XT	5XT、フルレンジ
-----	-----	-----------

115XT

118	115XT_FI	115XT、フルレンジ、フィル
119	115XT_FI_100	115XT、HPF = 100 Hz、フィル
120	115XT_FR	115XT、フルレンジ、フロントオブハウス
121	115XT_FR_100	115XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
122	115XT_MO	115XT、フルレンジ、モニター
123	115XT_MO_100	115XT、HPF = 100 Hz、モニター

MTD115bA

124	115bA_FI	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、フィル
125	115bA_FI_100	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
126	115bA_FR	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
127	115bA_FR_100	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
128	115bA_MO	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、モニター
129	115bA_MO_100	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

MTD115bP

130	115bP_FI	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、フィル
131	115bP_FI_100	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
132	115bP_FR	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
133	115bP_FR_100	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
134	115bP_MO	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、モニター
135	115bP_MO_100	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

112XT

136	112XT_FI	112XT、フルレンジ、フィル
137	112XT_FI_100	112XT、HPF = 100 Hz、フィル
138	112XT_FR	112XT、フルレンジ、フロントオブハウス
139	112XT_FR_100	112XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
140	112XT_MO	112XT、フルレンジ、モニター
141	112XT_MO_100	112XT、HPF = 100 Hz、モニター

MTD112b

142	112b_FI	MTD112b、フルレンジ、フィル
143	112b_FI_100	MTD112b、HPF = 100 Hz、フィル
144	112b_FR	MTD112b、フルレンジ、フロントオブハウス
145	112b_FR_100	MTD112b、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
146	112b_MO	MTD112b、フルレンジ、モニター
147	112b_MO_100	MTD112b、HPF = 100 Hz、モニター

MTD108a

148	108a_FI	MTD108a、フルレンジ、フィル
149	108a_FI_100	MTD108a、HPF = 100 Hz、フィル
150	108a_FR	MTD108a、フルレンジ、フロントオブハウス
151	108a_FR_100	MTD108a、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
152	108a_MO	MTD108a、フルレンジ、モニター
153	108a_MO_100	MTD108a、HPF = 100 Hz、モニター

FLAT

154	FLAT_LA8	EQ フラット、アンプクリップを防止する最低限の保護
-----	----------	----------------------------

LA12Xプリセットライブラリー

LA12 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 074 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA12Xプリセットライブラリー6.0

K1

011	K1	K1、フルレンジ
-----	----	----------

K2

012	K2	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
013	K2 90	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
014	K2 110	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K1-SB

015	K1SB_60	K1-SB、LPF = 60 Hz、コンター構成に最適化
016	K1SB_X	K1-SB、LPF = 200 Hz、K1 との組み合わせによるスロー構成に最適化
017	K1SB_X K2	K1-SB、LPF = 200 Hz、K2 との組み合わせによるスロー構成に最適化

KARA

018	KARA	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
019	KARA_FI	KARA、HPF = 100 Hz、フィル
020	KARADOWNK1	KARA、HPF = 100 Hz、K1 のダウンフィルとしてのディレイを組み込み済み
021	KARADOWNK2	KARA、HPF = 100 Hz、K2 のダウンフィルとしてのディレイを組み込み済み

ARCS_II

022	ARCS_II	ARCS II、フルレンジ
-----	---------	---------------

ARCS_WF

023	ARCS_WIFO	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フロントオブハウス
024	ARCS_WIFO_FI	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フィル

KS28

025	KS28_60	KS28、LPF = 60 Hz
026	KS28_100	KS28、LPF = 100 Hz
027	KS28_60_C	KS28、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
028	KS28_100_C	KS28、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB28

029	SB28_60	SB28、LPF = 60 Hz
030	SB28_100	SB28、LPF = 100 Hz
031	SB28_60_C	SB28、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
032	SB28_100_C	SB28、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB18

033	SB18_60	SB18、LPF = 60 Hz
034	SB18_100	SB18、LPF = 100 Hz
035	SB18_60_C	SB18、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
036	SB18_100_C	SB18、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

037	SB15_100	SB15、LPF = 100 Hz
038	SB15_100_C	SB15、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

KIVA II

039	KIVA II	KIVA II フルレンジ、フロントオブハウス
040	KIVA II_FI	KIVA II フルレンジ、フィル

KIVA

041	KIVA	KIVA フルレンジ、フロントオブハウス
042	KIVA_FI	KIVA フルレンジ、フィル

SB15KIVA

043	KIVA_SB15m	KIVA & SB15m、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	------------	---

SYVA

044	SYVA	SYVA、フルレンジ、フロントオブハウス
045	SYVA LOW_100	SYVA LOW、LPF = 100 Hz
046	SYVA LOW SYVA	SYVA & SYVA LOW、フルレンジ、フロントオブハウス
047	SYVA SUB_100	SYVA SUB、LPF = 100 Hz

X15HiQ

048	X15	X15 HiQ、フルレンジ
049	X15_MO	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

050	X12	X12、フルレンジ、
051	X12_MO	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

052	X8	X8、フルレンジ、
053	X8_MO	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

054	HIQ_FI	115XTHiQ、フルレンジ、フィル
055	HIQ_FI_100	115XTHiQ、LPF = 100 Hz、フィル
056	HIQ_FR	115XTHiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
057	HIQ_FR_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
058	HIQ_MO	115XTHiQ、フルレンジ、モニター
059	HIQ_MO_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTA

060	12XTA_FI	12XT、アクティブ、フルレンジ、フィル
061	12XTA_FI_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
062	12XTA_FR	12XT、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
063	12XTA_FR_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
064	12XTA_MO	12XT、アクティブ、フルレンジ、モニター
065	12XTA_MO_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTP

066	12XTP_FI	12XT、パッシブ、フルレンジ、フィル
067	12XTP_FI_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
068	12XTP_FR	12XT、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
069	12XTP_FR_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
070	12XTP_MO	12XT、パッシブ、フルレンジ、モニター
071	12XTP_MO_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

8XT

072	8XT_FI	8XT、フルレンジ、フィル
073	8XT_FI_100	8XT、HPF = 100 Hz、フィル
074	8XT_FR	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
075	8XT_FR_100	8XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
076	8XT_MO	8XT、フルレンジ、モニター
077	8XT_MO_100	8XT、HPF = 100 Hz、モニター

5XT

078	5XT	5XT、フルレンジ
-----	-----	-----------

FLAT

079	FLAT_LA12X	EQ フラット、アンプクリップを防止する最低限の保護
-----	------------	----------------------------

フラットプリセット

 **フラットプリセットの出力チャンネルに接続したトランスデューサーは L-DRIVE で保護されません。**
FLAT プリセットで作用するリミットは「アンプ保護のためにクリップを最小化するものだけ」です。
サードパーティーのスピーカーエンクロージャーをドライブする場合は、スピーカーモデルに合わせたプリセットを持つ外部 DSP デバイスの併用を推奨します。

[FLAT_xxx]プリセットは、入力信号の周波数特性に変更を加えずに増幅し、ダイレクトに出力にルーティングします。なお、すべての出力パラメーターにアクセスできます。(ミュート、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ルーティング)

LA4 と LA4X の[FLAT]プリセットのヘッドルームは 6 dB、LA8 の[FLAT_LA8]プリセットのヘッドルームは 8 dB、LA12X の[FLAT_LA12X]プリセットのヘッドルームは 9.5 dB となります。

[FLAT_xxxx]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

 ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

可変曲率 WST システム プリセット

可変曲率 WST ラインソース用のファクトリープリセットはロングスローアプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。（-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など）

K1



互換性の問題

プリセットライブラリー4.x の[K1][KARADOWNK1][K2 xxx]のプリセットは、バージョン 4.0 未満のプリセットライブラリーと互換性がありません。

古いプリセットを使っているセッションファイルから仕事を始めると互換性の問題が発生します。一つのラインソースの中では、すべてのユニットで同じバージョンのプリセットライブラリーを使ってください。

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	K1	K1-SB	KS28 または SB28 *	
K1 ラインソース	[K1]	-	-	35 Hz – 20 kHz
K1 / K1-SB ラインソース [K1-SB が上段]	[K1]	[K1SB_X]	-	低域スローイング強化
K1 ラインソース + 近接した K1-SB サブウーハー [横または後]	[K1]	[K1SB_60]	-	30 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域除去（側方偏極または後方カーディオイド）
K1 ラインソース + サブウーハー	[K1]	-	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

*サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]を用います。



垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション

K2 エンクロージャーは[K2_110]でドライブします。

KARA エンクロージャーは[KARADOWNK1]でドライブします。

[K1]と[K2 xxx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[K1SB_X]と[K1SB_60]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KARADOWNK1]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

- 

K1 のダウンフィル用としてのアライメントディレイが組み込まれています。
- 

ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます

K2

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	K1	K1-SB	KS28 または SB28 *	
K2 ラインソース	[K2 xxx]	-		35 Hz – 20 kHz 水平指向角調整可能
K2 / K1-SB ラインソース [K1-SB が上段]	[K2 xxx]	[K1SB_X K2]	-	低域スローイング強化
K2 ラインソース + 近接した K1-SB サブウーハー [横または後]	[K2 xxx]	[K1SB_60]	-	30 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域除去（側方偏極または後方カーディオイド）
K2 ラインソース + サブウーハー	[K2 xxx]	-	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]を用います。



K2 のフィン設定とプリセット

K2 のフィン設定に合わせて適合するプリセットを選んでください。

[K2 70] : 70°、[K2 90] : 90°、[K2 110] : 110°

詳細は K2 ユーザーマニュアルを参照してください。



垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション

KARA エンクロージャーは[KARADOWNK2]でドライブします。

[K2 xxx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[K1SB_X K2]と[K1SB_60]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

[KARADOWNK2]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

- 

K2 のダウンスピーカー用としてのアライメントディレイが組み込まれています。[KARADOWNK2]のヘッドルームは 11 dB です。
- 

ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます

Kudo

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kudo	KS28、SB28、SB18*	
KUDO ラインソース	[KUDOxx_25]		35 Hz – 20 kHz
	[KUDOxx_40]		40 Hz – 20 kHz
	[KUDOxx_60]		60 Hz – 20 kHz
KUDO ラインソース + サブウーハー	[KUDOxx_40]	[xxxx_60]	25 Hz まで拡張 (KS28 と SB28) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]を用います。

**KUDO のルーバーとプリセット**

KUDO のルーバーに合わせて適合するプリセットを選んでください。

[KUDO50_xx] : 50°、[KUDO80_xx] : 80°、[KUDO110_xx] : 110°

詳細は KUDO ユーザーマニュアルを参照してください。

[KUDOxx_xx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

KARA



KARA と KARAI は同じエンクロージャーのバージョン違いです。推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kara	KS28、SB28、SB18*	
Kara ラインソース	[KARA]	-	55 Hz – 20 kHz
Kara ラインソース + 近接したサブウーハー	[KARA]	[xxxx_100]	25 Hz まで拡張 (KS28 または SB28) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化
Kara ラインソース + 離れたサブウーハー	[KARA]	[xxxx_60]	
1 コまたは 2 コの Kara	[KARA_FI]	-	フラットレスポンス HPF 100 Hz

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]をします。

[KARA]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[KARA_FI]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

KIVA II

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Kiva II	SB15m*	SB18*	
Kiva II ラインソース	[KIVA II]	-		70 Hz – 20 kHz
Kiva II ラインソース + 近接したサブウーハー	[KIVA II]	[SB15_100]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 (SB18) 40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化
最大で 3 台の KIVA II エンクロージャー	[KIVA II_FI]	-		70 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
最大で 3 台の KIVA II エンクロージャー + 近接したサブウーハー	[KIVA II_FI]	[SB15_100]	-	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

[KIVA II]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA II_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

KIVA SB15m

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kiva	SB15m*	
Kiva ラインソース	[KIVA]	-	80 Hz – 20 kHz
Kiva ラインソース + 近接した SB15m	[KIVA_SB15]		40 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[KIVA]	[SB15_100]	
1 コまたは 2 コの Kiva	[KIVA_FI]	-	80 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
1 コまたは 2 コの Kiva 近接した SB15m	[KIVA_FI]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

[KIVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_SB15]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SB15m	OUT 1	LF					ON
KIVA	OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
KIVA	OUT 3	PA					ON
KIVA	OUT 4	PA					ON

 ハイブリットプリセットの[KIVA_SB15]はブリアライメントディレイが組み込まれています。

 ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

Kiva Kilo

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Kiva	Kilo	SB18*	
Kiva ラインソース	[KIVA]	-	-	80 Hz – 20 kHz
Kiva ラインソース + 近接した Kilo	[KIVA_KILO]		-	50 Hz まで拡張
Kiva ラインソース + 近接した Kilo + SB18	[KIVA_KILO]		[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

[KIVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_KILO]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
KILO	OUT 1	LF					ON
KIVA	OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
KIVA	OUT 3	PA					ON
KIVA	OUT 4	PA					ON



ハイブリットプリセットの[KIVA_KILO]はブリアライメントディレイが組み込まれています。

[KILO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	Sb	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

V-DOSC

スピーカー構成	プリセット				音響特性
	V-DOSC*	dV-SUB	KS28/SB28/ SB218**	dV-DOSC	
V-DOSC ラインソース	[V-DOSC_LO] または[V-DOSC_HI]	-	-	-	40 Hz – 20 kHz
V-DOSC ラインソース + 近接した dV-SUB	[V-DOSC_xx_X]	[dV-S_X]	-	-	35 Hz まで拡張 低域コンターを強化
V-DOSC ラインソース + KS28 / SB28	[V-DOSC_xx_60]	-	[xx28_60]	-	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化
V-DOSC ラインソース + 近接した SB218	[V-DOSC_xx_X]	-	[SB218_X]	-	
V-DOSC ラインソース + 近接した dV-SUB + KS28 / SB28	[V-DOSC_xx_60]	[sV-S_60_X]	[xx28_60]	-	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域リソースを追加
V-DOSC ラインソース + 近接した dV-DOSC	[V-DOSC_xx]	-	-	[dV_xx_100]	ダウンフィル カバレッジ

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

[V-DOSC_LO],[V-DOSC_HI],[V-DOSC_xx_60],[V-DOSC_xx_X]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[dV-S_X],[dV-S_60_X],[SB218_X]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

dV-DOSC

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	dV-DOSC*	dV-SUB	SB118, SB18 SB218, SB28 KS28 **	
dV-DOSC ラインソース	[dV_LO] または [dV_HI]	-		65 Hz – 20 kHz
dV-DOSC ラインソース + 近接した dV-SUB	[dV_dV-S_xx]		-	35 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[dV_xx_100]	[dV-S_100]		
dV-DOSC ラインソース + 近接した SB	[dV_xx_100]	—	[xxxx_100]	32 Hz まで拡張 (SB18 / SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28 / SB28 / SB218)
dV-DOSC ラインソース + 近接した dV-SUB + 近接した SB	[dV_xx_100]	[dV-S_60_100]	[xxxx_60]	
1 コまたは 2 コの dV-DOSC	[dV_FI]	-	-	フラットレスポンス HPF 100 Hz

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]を用います。

[dV_LO] [dV_HI] [dV_xx_60] [dV_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[dV_FI]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[dV-S_100] [dV-S_60_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[dV_dV-S_HI] [dV_dV-S_HI60] [dV_dV-S_LO] [dV_dV-S_LO60]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
dV-SUB	OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
dV-SUB	OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
dV-DOSC LF	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
dV-DOSC HF	OUT 4	HF					ON

 [dV_LO_100]または[dV_HI_100]と[dV-S_100]を組み合わせたハイブリッドプリセット[dV_dV-S_xx]はプリアイメントディレイを含んでいます。

[dV_LO_100]または[dV_HI_100]と[dV-S_60_100]を組み合わせたハイブリッドプリセット[dV-S_60_100]はプリアイメントディレイを含んでいます。

 ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

定曲率 WST システム プリセット

定曲率 WST ラインソース用のファクトリープリセットは**ミディアムスロー**アプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。（-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など）

ARCS II

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS II	KS28 / SB28*	
ARCS II ラインソース	[ARCS II]	-	50 Hz – 20 kHz
ARCS II ラインソース + サブウーハー	[ARCS II]	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]を用います。

[ARCS II]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

ARCS WIDE / ARCS FOCUS

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS Wide / ARCS Focus	SB18*	
WiFo ラインソース	[ARCS_WIFO]	-	55 Hz – 20 kHz
WiFo ラインソース + SB18m	[ARCS_WIFO]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
単体 WiFo	[ARCS_WIFO_FI]	-	55 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
単体 WiFo + SB18m	[ARCS_WIFO_FI]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

[ARCS_WIFO] [ARCS_WIFO_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

ARCS

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS	SB18 / SB118 KS28 / SB28 / SB218	
ARCS ラインソース	[ARCS_LO]または[ARCS_HI]	-	50 Hz – 20 kHz
ARCS ラインソース + SB	[ARCS_xx_60]	[xxxx_60]	32 Hz まで拡張 (SB18 / SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28 / SB28 / SB218) 低域コンターを強化
ARCS ラインソース + 近接した SB	[ARCS_xx_100]	[xxxx_100]	

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]を用います。

[ARCS_LO] [ARCS_HI] [ARCS_xx_60] [ARCS_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

コリニアソースシステム プリセット

コリニアソースエンクロージャー用のファクトリープリセットは**ミディアムスロー**アプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。（-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など）

Syva

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Syva	Syva Low	Syva Sub	
Syva コリニアソース	[SYVA]	-	-	87 Hz – 20 kHz
Syva コリニアソース + 近接した Syva Low	[SYVA LOW SYVA]		-	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化
Syva コリニアソース + 離れた Syva Low	[SYVA]	[SYVA LOW_100]	-	
Syva コリニアソース + 近接した Syva Low + Syva Sub	[SYVA LOW SYVA]		[SYVA SUB_100]	27 Hz まで拡張 低域コンターを強化
Syva コリニアソース + 離れた Syva Low + Syva Sub	[SYVA]	[SYVA LOW_100]	[SYVA SUB_100]	



Syva システムはプリアライメントディレイ値が不要です。

[SYVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[SYVA LOW SYVA]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
Syva Low	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
Syva	OUT 2	PA					ON
Syva Low	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
Syva	OUT 4	PA					ON



Syva と Syva Low のハイブリッドプリセット

オートコネクトまたは Syva と Syva Low が 60 cm 以内の場合（音響的にカップリングされている）にのみ使用してください。

Syva と Syva Low が 60 cm 以上離れている場合は、LA Network Manager で[SYVA]と[SYVA LOW_100]を組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。

[SYVA LOW_100]と[SYVA SUB_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



[SYVA SUB_100]は Syva / Syva Low と Syva Sub の音響的な結合を最適化するために極性が反転されています。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

同軸スピーカーエンクロージャー プリセット

同軸エンクロージャー用のファクトリープリセットはショートスローアプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)

X15 HiQ

X15 HiQ は同軸アクティブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X15 HiQ	SB18	
X15 HiQ	[X15]	-	55 Hz – 20 kHz
	[X15_MO]	-	52 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
X15 HiQ + SB18	[X15]	[SB18_100]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[X15_MO]		32 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低レイテンシー

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB18_100_C]を用います。



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンプリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせるケースでは、[xx_MO]と[SBxx_100]を 1 つのプリセットにまとめたカスタムプリセットを作り、そのカスタムプリセットを使うことをおすすめします。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンプリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.65 ms。LA4X と LA12X は 3.08 ms。)

[X15] [X15_MO]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[SB18_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[SB18_100_C]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SR	OUT 1	SR	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
SB	OUT 2	SB					ON
SB	OUT 3	SB					ON
SB	OUT 4	SB					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X12

X12 は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X12	SB15m または SB18	
X12	[X12]	-	59 Hz – 20 kHz
	[X12_MO]	-	57 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
X12 + SB	[X12]	[SBxx_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張(SB18) 低域コンターを強化
	[X12_MO]		40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化 低レイテンシー

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_100_C]を用います。



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンプリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせるケースでは、[xx_MO]と[SBxx_100]を 1 つのプリセットにまとめたカスタムプリセットを作り、そのカスタムプリセットを使うことをおすすめします。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンプリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.65 ms。LA4X と LA12X は 3.08 ms。)

[X12] [X12_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[SBxx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[SBxx_100_C]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SR	OUT 1	SR	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
SB	OUT 2	SB					ON
SB	OUT 3	SB					ON
SB	OUT 4	SB					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X8

X8 は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X8	SB15m*	
X8	[X8]	-	60 Hz – 20 kHz
	[X8_MO]	-	55 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
X8 + SB15m	[X8]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化
	[X8_MO]		40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化 低レイテンシー

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_100_C]を用います。



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンブリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせるケースでは、[xx_MO]と[SBxx_100]を 1 つのプリセットにまとめたカスタムプリセットを作り、そのカスタムプリセットを使うことをおすすめします。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンブリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.65 ms。LA4X と LA12X は 3.08 ms。)

[X8] [X8_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[SBxx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[SBxx_100_C]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SR	OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
SB	OUT 2	SB					ON
SB	OUT 3	SB					ON
SB	OUT 4	SB					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

5XT

5XT は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	5XT	SB15m*	
5XT	[5XT]	-	95 Hz – 20 kHz
X12 + SB15m	[5XT]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_100_C]を用います。

[5XT]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[SB15_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP

8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP は同軸パッシブエンクロージャーです。

プリセット名

同軸パッシブエンクロージャー	プリセット
8XT	[8XT_xx]
12XT パッシブモード	[12XTP_xx]
MTD108a	[108a_xx]
MTD112b	[112b_xx]
MTD115b パッシブモード	[115bP_xx]

スピーカー構成	プリセット		音響特性	
	パッシブ xxx	SB15m*, SB18 SB118		
同軸	[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO]	-	公称バンドワイズ	3つのコンターから選択
同軸 + 近接した SB	[xxx_xx_100]	[SBxx_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 低域コンターを強化	

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

** [xxx_FR]は FOH 用途向け、[xxx_FI]はスピーチ・クラシック音楽・補助システム向け、[xxx_MO]は半自遊空間（床・壁・天井）に設置される場合向けです。

[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO] [xxx_xx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

12XTA、115XT HiQ、MTD115bA、115XT

12XTA、115XT、115XT HiQ、MTD115bA は同軸アクティブエンクロージャーです。

プリセット名

同軸アクティブエンクロージャー	プリセット
12XT (アクティブモード)	[12XTA_xx]
115XT HiQ	[HiQ_xx]
MTD115b (アクティブモード)	[115bA_xx]
115XT	[115XT_xx]

スピーカー構成	プリセット		音響特性	
	アクティブ xxx	SB18 / SB118*		
同軸	[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO]	-	公称バンドワイズ	3つのコンターから選択
同軸 + 近接した SB	[xxx_xx_100]	[SBxx_100]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化	

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

** [xxx_FR]は FOH 用途向け、[xxx_FI]はスピーチ・クラシック音楽・補助システム向け、[xxx_MO]は半自遊空間（床・壁・天井）に設置される場合向けです。

[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO] [xxx_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

 ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

サブウーハーエンクロージャー プリセット

このセクションの表は、L-acoustics の汎用サブウーハーの構成と対応するファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)



SB15m のヘッドルーム

SB15m のプリセットである[SB15_100]と[SB15_100_C]のヘッドルームは、プリセットライブラリー5.6(.5)から 8 dB に変更しました。ハイブリットプリセット[KIVA_SB15]、または以前のバージョンのプリセットを使用する場合のヘッドルームは 4 dB となります。

K1-SB、KS28、SB28、SB18、SB218、SB118 のヘッドルーム

古いバージョンのプリセットライブラリーを用いているセッションファイルのプリセットを更新した場合、同じゲインを確保するにはつぎの調整をしてください。

[SB28_60]、[SB218_60] : + 4 dB

[KS28_60]、[SB28_100]、[SB18_60]、[SB18_100]、[SB218_100]、[SB118_60]、[SB118_100] : + 3 dB

[KS28_100] : + 2 dB

[K1SB_60] : + 1 dB

サブウーハー	可能なプリセット	最適な互換
SB15m	[SB15_100]または[SB15_100_C]	近接 KIVA, 近接 KIVA II, XT, X12, X8
SB18(i) SB18m	[SB18_60]または[SB18_60_C]	Kudo, Kara, Kiva/Kilo, ARCS, ARCS Wide, ARCS Focus
	[SB18_100]または[SB18_100_C]	Kara, ARCS, XT
SB118	[SB118_60]または[SB118_60_C]	Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kiva/Kilo, ARCS
	[SB118_100]または[SB118_100_C]	dV-DOSC, ARCS, XT, 近接 MTD
SB28	[SB28_60]または[SB28_60_C]	K1, K2, V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kara/SB18, ARCS, ARCS II
	[SB28_100]または[SB28_100_C]	dV-DOSC, Kara, 近接 ARCS
KS28	[KS28_60]または[KS28_60_C]	K1, K2, V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kara/SB18, ARCS, ARCS II
	[KS28_100]または[KS28_100_C]	dV-DOSC, Kara, 近接 ARCS
SB218	[SB218_60]	V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, ARCS
	[SB218_100]	dV-DOSC, 近接 ARCS
Syva Low	[SYVA LOW SYVA]	近接 Syva, 近接 Syva + Syva Sub
	[SYVA LOW_100]	Syva, Syva + Syva Sub
Syva Sub	[SYVA SUB_100]	Syva/Syva Low, 近接 Syva/Syva Low

* Syva Sub の極性は Syva Low との組み合わせを考慮して反転されています。

スピーカー構成*	プリセット**	音響特性
標準	[xxxx_60] [xxxx_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28/SB28/SB218)
カーディオイド	[xxxx_60_C] [xxxx_100_C]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28/SB28/SB218) カーディオイドパターン

* 構成ごとのキャビネット配列パターンはユーザーマニュアルを参照してください。

** SB28 と SB218 は LA8 または LA12X アンブリファイドコントローラーでドライブできます。KS28 は LA12X アンブリファイドコントローラーでドライブします。

[xxxx_60] [xxxx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[xxxx_60_C] [xxxx_100_C]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SR	OUT 1	SR					ON
SB	OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
SB	OUT 3	SB					ON
SB	OUT 4	SB					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

プリアライメントディレイ値



幾何学的な計測によるタイムアライメント

いくつかのスピーカースystemを組み合わせる場合には、音響的な合算を最適化するために、それらのディレイ値を調整することが重要です。音響測定ツールが無いケースでは、このセクションの表に示されたプリアライメントディレイ値を使用します。

プリアライメントディレイはエンクロージャーの前面が同一平面上の幾何学的に同じ場所に位置する状態で計測されています。

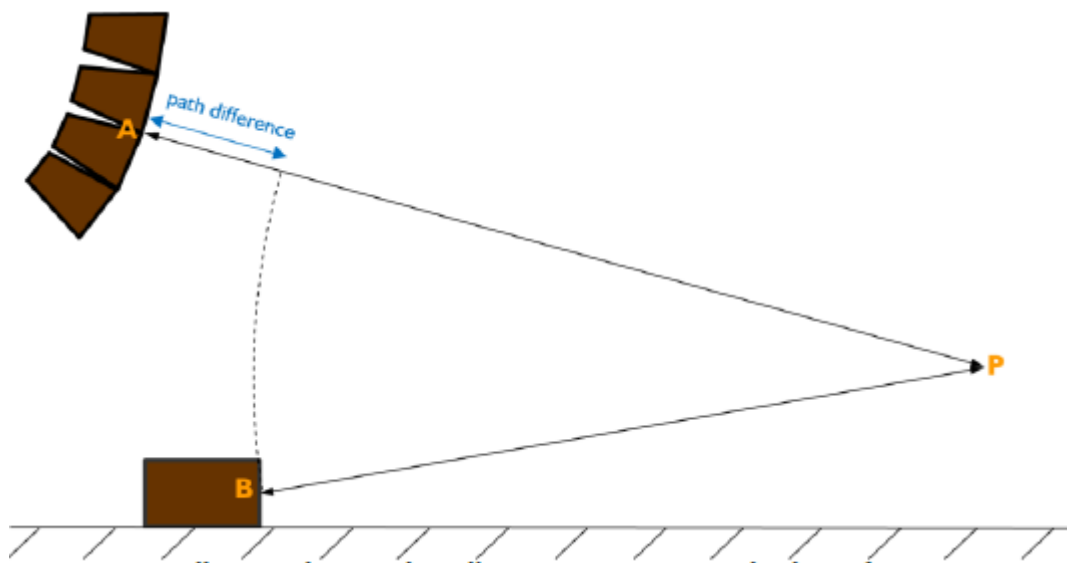
最初にファクトリープリセットにこれらの値を付加し、次にタイムアライメントとして最も到達距離が短いシステムに幾何学的なディレイを追加します。幾何学的なディレイは基準リスニングポイントと各システムとの到達距離差から算出します。



レーザーレンジファインダー（レーザー距離計）

L-acoustics の Tech Toolcase には距離計測に使用できる truPulse™200 と Leica DISTO™D3、2つのレーザーデバイスを含んでいます。

ラインソース + 離れたサブウーハー



手順

- PA - PB 間の到達距離差を計測する。
 - P：基準となるリスニングポイント
 - A：リスニングポイントからの距離が遠いシステムの中心、システム a と名付けます。
 - B：リスニングポイントからの距離が近いシステムの中心、システム b と名付けます。
- 幾何学的なディレイを計算 (S)：到達距離差 (m) / 音速 ($\text{m}\cdot\text{s}^{-1}$)
 - 音速 $\approx 340 \text{ m}\cdot\text{s}^{-1}$ 20℃ 空気が乾燥した状態
- このセクションの表から、システム a とシステム b を組み合わせる場合の「a のプリアライメントディレイ」と「b のプリアライメントディレイ」を読み取ります。
- それぞれのシステムのファクトリープリセットにアライメントディレイを加えます。さらに、基準リスニングポイントに近い「システム b」にのみ、幾何学的なディレイを加えます。
 - システム a のアライメントディレイ (ms) = **プリアライメントディレイ a** (ms)
 - システム b のアライメントディレイ (ms) = **プリアライメントディレイ b** (ms) + 幾何学的なディレイ (ms)

ノーマライズ：上の値の差分を保ったまま、値の小さいほうが 0 になるように再計算し入力します。

可変曲率 WST システム

K1 + K1-SB

プリセット	プリアラライメントディレイ値 (ms)	
[K1] + [K1SB_X]	K1 = 0	K1-SB = 0
[K1] + [K1SB_60]	K1 = 6	K1-SB = 0

K1 + SB28

プリセット	プリアラライメントディレイ値 (ms)	
[K1] + [SB28_60]	K1 = 0	SB28 = 6
[K1] + [SB28_60_C]	K1 = 0	SB28 = 0.5

K1 + KS28

プリセット	プリアラライメントディレイ値 (ms)	
[K1] + [KS28_60]	K1 = 0	KS28 = 6
[K1] + [KS28_60_C]	K1 = 0	KS28 = 0.5

K1 + K1-SB + SB28

プリセット	プリアラライメントディレイ値 (ms)		
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60]	K1 = 0	K1-SB = 0	SB28 = 6
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60_C]	K1 = 0	K1-SB = 0	SB28 = 0.5
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60]	K1 = 8	K1-SB = 2	SB28 = 0
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60_C]	K1 = 13.5	K1-SB = 7.5	SB28 = 0

K1 + K1-SB + KS28

プリセット	プリアラライメントディレイ値 (ms)		
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60]	K1 = 0	K1-SB = 0	KS28 = 6
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60_C]	K1 = 0	K1-SB = 0	KS28 = 0.5
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60]	K1 = 8	K1-SB = 2	KS28 = 0
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60_C]	K1 = 13.5	K1-SB = 7.5	KS28 = 0

K2 + K1-SB

プリセット	プリアラライメントディレイ値 (ms)	
[K2] + [K1SB_X K2]	K2 = 0	K1-SB = 0
[K2] + [K1SB_60]	K2 = 6	K1-SB = 0

K2 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[K2] + [SB28_60]	K2 = 0	SB28 = 6
[K2] + [SB28_60_C]	K2 = 0	SB28 = 0.5

K2 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[K2] + [KS28_60]	K2 = 0	KS28 = 6
[K2] + [KS28_60_C]	K2 = 0	KS28 = 0.5

K2 + K1-SB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)		
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60]	K2 = 0	K1-SB = 0	SB28 = 6
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60_C]	K2 = 0	K1-SB = 0	SB28 = 0.5
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60]	K2 = 8	K1-SB = 2	SB28 = 0
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60_C]	K2 = 13.5	K1-SB = 7.5	SB28 = 0

K2 + K1-SB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)		
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60]	K2 = 0	K1-SB = 0	KS28 = 6
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60_C]	K2 = 0	K1-SB = 0	KS28 = 0.5
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60]	K2 = 8	K1-SB = 2	KS28 = 0
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60_C]	K2 = 13.5	K1-SB = 7.5	KS28 = 0

KUDO + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[KUDO xx_60] + [SB118_60]	Kudo = 0	SB118 = 3.5
[KUDO xx_60] + [SB118_60_C]	Kudo = 2	SB118 = 0

KUDO + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[KUDO xx_60] + [SB18_60]	Kudo = 0	SB18 = 3.9
[KUDO xx_60] + [SB18_60_C]	Kudo = 1.6	SB18 = 0

KUDO + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[KUDO xx_60] + [SB218_60]	Kudo = 0	SB218 = 5

KUDO + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[KUDO xx_60] + [SB28_60]	Kudo = 0	SB28 = 5
[KUDO xx_60] + [SB28_60_C]	Kudo = 0.5	SB28 = 0

KUDO + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[KUDO xx_60] + [KS28_60]	Kudo = 0	KS28 = 5
[KUDO xx_60] + [KS28_60_C]	Kudo = 0.5	KS28 = 0

KARA + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[KARA] + [SB18_100]	Kara = 0	SB18 = 0
[KARA_FI] + [SB18_100]	Kara = 3.0	SB18 = 0
[KARA] + [SB18_100_C]	Kara = 5.5	SB18 = 0
[KARA_FI] + [SB18_100_C]	Kara = 8.5	SB18 = 0
[KARA] + [SB18_60]	Kara = 2.5	SB18 = 0
[KARA] + [SB18_60_C]	Kara = 8	SB18 = 0

KARA + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[KARA] + [SB28_100]	Kara = 0	SB28 = 1.35
[KARA] + [SB28_100_C]	Kara = 4.2	SB28 = 0
[KARA] + [SB28_60]	Kara = 0.3	SB28 = 0
[KARA] + [SB28_60_C]	Kara = 5.9	SB28 = 0

KARA + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[KARA] + [KS28_100]	Kara = 0	KS28 = 1.35
[KARA] + [KS28_100_C]	Kara = 4.2	KS28 = 0
[KARA] + [KS28_60]	Kara = 0.3	KS28 = 0
[KARA] + [KS28_60_C]	Kara = 5.9	KS28 = 0

KARA + SB18 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)		
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60]	Kara = 0	SB18 = 0	SB28 = 1.3
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60_C]	Kara = 4.2	SB18 = 4.2	SB28 = 0

KARA + SB18 + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60]	Kara = 0	SB18 = 0	KS28 = 1.3
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60_C]	Kara = 4.2	SB18 = 4.2	KS28 = 0

Kiva + Kilo

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KIVA] + [KILO]	Kiva = 0	Kilo = 1.5

Kiva/Kilo + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KIVA_KILO] + [SB118_60]	Kiva/Kilo = 0	SB118 = 5.9
[KIVA_KILO] + [SB118_60_C]	Kiva/Kilo = 0	SB118 = 0.4

Kiva/Kilo + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KIVA_KILO] + [SB18_60]	Kiva/Kilo = 0	SB18 = 6.3
[KIVA_KILO] + [SB18_60_C]	Kiva/Kilo = 0	SB18 = 0.8

Kiva + SB15m

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KIVA] + [SB15_100]	Kiva = 0	SB15m = 1.4
[KIVA] + [SB15_100_C]	Kiva = 2.4	SB15m = 0
[KIVA_FI] + [SB15_100]	Kiva = 0	SB15m = 0.6

Kiva/SB15m + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KIVA_SB15] + [SB18_60]	Kiva /SB15m = 0	SB18 = 8.5
[KIVA_SB15] + [SB18_60_C]	Kiva /SB15m = 0	SB18 = 3

KIVA II + SB15m

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KIVA II] + [SB15_100]	Kiva II = 0	SB15m = 1
[KIVA II] + [SB15_100_C]	Kiva II = 2.7	SB15m = 0
[KIVA_FI] + [SB15_100]	Kiva II = 0	SB15m = 0.7
[KIVA_FI] + [SB15_100_C]	Kiva II = 3	SB15m = 0

KIVA II + SB15m + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)		
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60]	Kiva II = 0	SB15m = 1	SB18 = 8.5
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60_C]	Kiva II = 0	SB15m = 1	SB18 = 2.95
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60]	Kiva II = 2.7	SB15m = 0	SB18 = 11.2
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60_C]	Kiva II = 2.7	SB15m = 0	SB18 = 5.65

V-DOSC + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[V-DOSC_xx_X] + [SB218_X]	V-DOSC = 1.8	SB218 = 0
[V-DOSC_xx_60] + [SB218_60]	V-DOSC = 0	SB218 = 3.8

V-DOSC + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[V-DOSC_xx_60] + [SB28_60]	V-DOSC = 0	SB28 = 3.8
[V-DOSC_xx_60] + [SB28_60_C]	V-DOSC = 1.7	SB28 = 0

V-DOSC + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[V-DOSC_xx_60] + [KS28_60]	V-DOSC = 0	KS28 = 3.8
[V-DOSC_xx_60] + [KS28_60_C]	V-DOSC = 1.7	KS28 = 0

V-DOSC + dV-SUB

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[V-DOSC_xx_X] + [dV-S_X]	V-DOSC = 0	dV-SUB = 0.2

V-DOSC + dV-SUB+ SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB218_60]	V-DOSC = 0	dV-SUB = 0.2	SB218 = 3.7

V-DOSC + dV-SUB+ SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB28_60]	V-DOSC = 0	dV-SUB = 0.2	SB28 = 3.7
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB28_60_C]	V-DOSC = 1.9	dV-SUB = 2	SB28 = 0

V-DOSC + dV-SUB+ KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [KS28_60]	V-DOSC = 0	dV-SUB = 0.2	KS28 = 3.7
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [KS28_60_C]	V-DOSC = 1.9	dV-SUB = 2	KS28 = 0

V-DOSC + dV-DOSC

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[V-DOSC_xx_60] + [dV_xx_100]	V-DOSC = 0	dV-DOSC = 0

V-DOSC + dV-DOSC downfill

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[V-DOSC_xx_60] + [dV_xx_100]	V-DOSC = 0	dV-DOSC = 0.04

dV-DOSC + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[dV_xx_100] + [SB118_100]	dV = 2.7	SB118 = 0
[dV_xx_100] + [SB118_100_C]	dV = 8.3	SB118 = 0

dV-DOSC + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[dV_xx_100] + [SB218_100]	dV = 0.8	SB218 = 0

dV-DOSC + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[dV_xx_100] + [SB18_100]	dV = 2.4	SB18 = 0
[dV_xx_100] + [SB18_100_C]	dV = 8	SB18 = 0

dV-DOSC + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[dV_xx_100] + [SB28_100]	dV = 0.8	SB28 = 0
[dV_xx_100] + [SB28_100_C]	dV = 6.3	SB28 = 0

dV-DOSC + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[dV_xx_100] + [KS28_100]	dV = 0.8	SB28 = 0
[dV_xx_100] + [KS28_100_C]	dV = 6.3	SB28 = 0

dV-DOSC + dV-SUB

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[dV_xx_100] + [dV-S_100]	dV = 0	dV-SUB = 0

dV-DOSC + dV-SUB + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)		
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB118_60]	dV = 0	dV-SUB = 0.75	SB118 = 4
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB118_60]_C	dV = 1.5	dV-SUB = 2.25	SB118 = 0

dV-DOSC + dV-SUB + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)		
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [SB218_60]	dV = 0	dV-SUB = 0.75	SB218 = 4.5

dV-DOSC + dV-SUB + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)		
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [SB18_60]	dV = 0	dV-SUB = 0.75	SB18 = 4.4
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [SB18_60]_C	dV = 1.1	dV-SUB = 1.85	SB18 = 0

dV-DOSC + dV-SUB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)		
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [SB28_60]	dV = 0	dV-SUB = 0.75	SB28 = 4.5
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [SB28_60]_C	dV = 1	dV-SUB = 1.75	SB28 = 0

dV-DOSC + dV-SUB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)		
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [KS28_60]	dV = 0	dV-SUB = 0.75	KS28 = 4.5
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [KS28_60]_C	dV = 1	dV-SUB = 1.75	KS28 = 0

定曲率 WST システム

ARCS + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_xx_60] + [SB118_60]	ARCS = 0.8	SB118 = 0
[ARCS_xx_60] + [SB118_60_C]	ARCS = 6.3	SB118 = 0
[ARCS_xx_100] + [SB118_100]	ARCS = 1.4	SB118 = 0
[ARCS_xx_100] + [SB118_100_C]	ARCS = 6.9	SB118 = 0

ARCS + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_xx_60] + [SB18_60]	ARCS = 0.4	SB18 = 0
[ARCS_xx_60] + [SB18_60_C]	ARCS = 5.9	SB18 = 0
[ARCS_xx_100] + [SB18_100]	ARCS = 1.1	SB18 = 0
[ARCS_xx_100] + [SB18_100_C]	ARCS = 6.6	SB18 = 0

ARCS + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_xx_60] + [SB218_60]	ARCS = 0	SB218 = 0.9
[ARCS_xx_100] + [SB218_100]	ARCS = 0	SB218 = 0.3

ARCS + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_xx_60] + [SB28_60]	ARCS = 0	SB28 = 0.6
[ARCS_xx_60] + [SB28_60_C]	ARCS = 4.9	SB28 = 0
[ARCS_xx_100] + [SB28_100]	ARCS = 0	SB28 = 0.5
[ARCS_xx_100] + [SB28_100_C]	ARCS = 5.0	SB28 = 0

ARCS + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_xx_60] + [KS28_60]	ARCS = 0	KS28 = 0.6
[ARCS_xx_60] + [KS28_60_C]	ARCS = 4.9	KS28 = 0
[ARCS_xx_100] + [KS28_100]	ARCS = 0	KS28 = 0.5
[ARCS_xx_100] + [KS28_100_C]	ARCS = 5.0	KS28 = 0

ARCS II + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_II] + [SB28_60]	ARCS II = 0	SB28 = 2.6
[ARCS_II] + [SB28_60_C]	ARCS II = 2.9	SB28 = 0

ARCS II + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_II] + [KS28_60]	ARCS II = 0	KS28 = 2.6
[ARCS_II] + [KS28_60_C]	ARCS II = 2.9	KS28 = 0

ARCS Wide/Focus +SB18m

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI] + [SB18_60]	ARCS Wide/Focus = 1.7	SB18m = 0
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI]+ [SB18_60_C]	ARCS Wide /Focus = 7.2	SB18m = 0

コリニアシステム



Syva システムはプリアライメントディレイ値が不要です。

同軸スピーカーエンクロージャー



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンプリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせるケースでは、[xx_MO]と[SBxx_100]を 1 つのプリセットにまとめたカスタムプリセットを作り、そのカスタムプリセットを使うことをおすすめします。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンプリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.65 ms。LA4X と LA12X は 3.08 ms。)

X15 HiQ + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[X15] + [SB18_100]	X15 HiQ = 0	SB18 = 0
[X15_MO] + [SB18_100]	X15 HiQ = 0	SB18 = 0

X12 + SB15m

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[X12] + [SB15_100]	X12 = 0	SB15m = 2.8
[X12_MO] + [SB15_100]	X12 = 0	SB15m = 2.8

X12 + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[X12] + [SB18_100]	X8 = 0	SB18 = 0
[X12_MO] + [SB18_100]	X8 = 0	SB18 = 0

X8 + SB15m

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[X8] + [SB15_100]	ARCS = 0	SB15m = 2.6
[X8_MO] + [SB15_100]	ARCS = 4.9	SB15m = 2.6

115XT HiQ + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[HIQ_FI_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.6	SB118 = 0
[HIQ_FR_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.6	SB118 = 0
[HIQ_MO_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.5	SB118 = 0

115XT HiQ + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[HIQ_FI_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.3	SB18 = 0
[HIQ_FR_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.3	SB18 = 0
[HIQ_MO_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.2	SB18 = 0

115HIQ + dV-SUB

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[HIQ_FI_100] + [dV-S_100]	115XTHiQ = 0.6	dV-SUB = 0
[HIQ_FR_100] + [dV-S_100]	115XTHiQ = 0.6	dV-SUB = 0
[HIQ_MO_100] + [dV-S_100]	115XTHiQ = 0.5	dV-SUB = 0

アクティブ 12XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[12XTA_FI_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.6	SB118 = 0
[12XTA_FR_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.6	SB118 = 0
[12XTA_MO_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.5	SB118 = 0

アクティブ 12XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[12XTA_FI_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.3	SB18 = 0
[12XTA_FR_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.3	SB18 = 0
[12XTA_MO_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.2	SB18 = 0

パッシブ 12XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[12XTP_FI_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4	SB118 = 0
[12XTP_FR_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4	SB118 = 0
[12XTP_MO_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4	SB118 = 0

パッシブ 12XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[12XTP_FI_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1	SB18 = 0
[12XTP_FR_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1	SB18 = 0
[12XTP_MO_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1	SB18 = 0

8XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[8XT_FI_100] + [SB118_100]	8XT = 3.1	SB118 = 0
[8XT_FR_100] + [SB118_100]	8XT = 3.2	SB118 = 0
[8XT_MO_100] + [SB118_100]	8XT = 3.0	SB118 = 0

8XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[8XT_FI_100] + [SB18_100]	8XT = 2,8	SB18 = 0
[8XT_FR_100] + [SB18_100]	8XT = 2.9	SB18 = 0
[8XT_MO_100] + [SB18_100]	8XT = 2.7	SB18 = 0

5XT + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[5XT] + [SB15_100]	5XT = 0.3	SB15 = 0

115XT +SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[115XT_FI_100] + [SB118_100]	115XT = 2.6	SB118 = 0
[115XT_FR_100] + [SB118_100]	115XT = 2.5	SB118 = 0
[115XT_MO_100] + [SB118_100]	115XT = 2.9	SB118 = 0

115XT +SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[115XT_FI_100] + [SB18_100]	115XT = 2.3	SB18 = 0
[115XT_FR_100] + [SB18_100]	115XT = 2.2	SB18 = 0
[115XT_MO_100] + [SB18_100]	115XT = 2.6	SB18 = 0

アクティブ MTD115 + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[115bA_FI_100] + [SB118_100]	115bA = 2.4	SB118 = 0
[115bA_FR_100] + [SB118_100]	115bA = 2.5	SB118 = 0
[115bA_MO_100] + [SB118_100]	115bA = 2.7	SB118 = 0

アクティブ MTD115 + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[115bA_FI_100] + [SB18_100]	115bA = 2.1	SB18 = 0
[115bA_FR_100] + [SB18_100]	115bA = 2	SB18 = 0
[115bA_MO_100] + [SB18_100]	115bA = 2.4	SB18 = 0

パッシブ MTD115 + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[115bP_FI_100] + [SB118_100]	115bP = 2.1	SB118 = 0
[115bP_FR_100] + [SB118_100]	115bP = 2.2	SB118 = 0
[115bP_MO_100] + [SB118_100]	115bP = 2.8	SB118 = 0

パッシブ MTD115 + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[115bP_FI_100] + [SB18_100]	115bP = 1.8	SB18 = 0
[115bP_FR_100] + [SB18_100]	115bP = 1.9	SB18 = 0
[115bP_MO_100] + [SB18_100]	115bP = 2.5	SB18 = 0

112XT +SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[112XT_FI_100] + [SB118_100]	112XT = 2.3	SB118 = 0
[112XT_FR_100] + [SB118_100]	112XT = 2.3	SB118 = 0
[112XT_MO_100] + [SB118_100]	112XT = 2.6	SB118 = 0

112XT +SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[112XT_FI_100] + [SB18_100]	112XT = 2	SB18 = 0
[112XT_FR_100] + [SB18_100]	112XT = 2	SB18 = 0
[112XT_MO_100] + [SB18_100]	112XT = 2.3	SB18 = 0

MTD112b + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[112b_FI_100] + [SB118_100]	112b = 2.4	SB118 = 0
[112b_FR_100] + [SB118_100]	112b = 2.5	SB118 = 0
[112b_MO_100] + [SB118_100]	112b = 3.0	SB118 = 0

MTD112b + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[112b_FI_100] + [SB18_100]	112b = 2.1	SB18 = 0
[112b_FR_100] + [SB18_100]	112b = 2.2	SB18 = 0
[112b_MO_100] + [SB18_100]	112b = 2.7	SB18 = 0

MTD108a + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値 (ms)	
[108a_FI_100] + [SB118_100]	108a = 3.5	SB118 = 0
[108a_FR_100] + [SB118_100]	108a = 3.6	SB118 = 0
[108a_MO_100] + [SB118_100]	108a = 4.0	SB118 = 0

MTD108a + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[108a_FI_100] + [SB18_100]	108a = 3.2	SB18 = 0
[108a_FR_100] + [SB18_100]	108a = 3.3	SB18 = 0
[108a_MO_100] + [SB18_100]	108a = 3.7	SB18 = 0

アンプリファイドコントローラーごとのエンクロージャードライブ能力

LA4 アンプリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数

接続するエンクロージャーの総数が、コントローラーあたりでドライブできるキャビネットの最大数を超えていないことを確認してください。

1 台の LA4 に対する同軸エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
5XT	3	12
8XT	2	8
アクティブ 12XT	2	4
パッシブ 12XT	1	4
112XT	2	4
115XT HiQ	1	2
115XT	1	2
MTD108a	2	8
MTD112b	1	4
アクティブ MTD115b	1	2
パッシブ MTD115b	1	4

1 台の LA4 に対する定曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
ARCS Wide / ARCS Focus	1	4
ARCS	1	2

1 台の LA4 に対する可変曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
Kiva / Kilo	2	8

1 台の LA4 に対するサブウーハーエンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
SB15m	1	4
SB18	1	4
SB118	1	4

*パッシブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するエンクロージャー数です。アクティブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するセクション数です。

LA4X アンブリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数

接続するエンクロージャーの総数が、コントローラーあたりでドライブできるキャビネットの最大数を超過していないことを確認してください。

1 台の LA4X に対する同軸エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
5XT	4	16
X8	2	8
X12	1	4
X15 HiQ	1	2
8XT	2	8
アクティブ 12XT	2	4
パッシブ 12XT	1	4
115XT HiQ	1	2

1 台の LA4X に対する定曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
ARCS Wide / ARCS Focus	1	4
ARCS II	1	2

1 台の LA4X に対する可変曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
Kiva / Kilo	2	8
Kiva II	2	8
Kara	2	4
K2	1	1
Kudo	1	1

1 台の LA4X に対するコリニアエンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
Syva	1	4

1 台の LA4X に対するサブウーハーエンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
SB15m	1	4
SB18	1	4
Syva Low	1	4
Syva Sub	1	4

*パッシブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するエンクロージャー数です。アクティブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するセクション数です。



ARCS、SB118、MTD シリーズ、112XT、115XT の最大接続は LA4 の表を参照してください。

LA8 アンプリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数

接続するエンクロージャーの総数が、コントローラーあたりでドライブできるキャビネットの最大数を超過していないことを確認してください。

1 台の LA8 に対する同軸エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
5XT	6	24
X8	3	8 ^a
X12	2	8
X15 HiQ	2	4
8XT	3	12
アクティブ 12XT	3	6
パッシブ 12XT	2	8
112XT	3	6
115XT	3	6
115XT HiQ	2	4
MTD108a	3	12
MTD112b	2	8
アクティブ MTD115b	2	4
パッシブ MTD115b	2	8

1 台の LA8 に対する定曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
ARCS Wide / ARCS Focus	2	8
ARCS II	2	4
ARCS	3	6

^a LA8 は 1 出力あたり 3 x X8 をドライブできますが、高出力を使用する場合にはコントローラーあたり 8 x X8 が最大となります。

1 台の LA8 に対する可変曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
Kiva / Kilo	3	12
Kiva II	4	16
Kara	3	6
K2	3	3
K1	2	2
K1-SB	1	4
Kudo	3	3
V-DOSC	2	2
dV-DOSC	3	6

1 台の LA8 に対するコリニアソースエンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
Syva	2	8

1 台の LA8 に対するサブウーハーエンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
SB15m	2	6 ^b
SB18	2	8
SB28	1	4
SB118	2	8
SB218	1	4
Syva Low	1	4
Syva Sub	2	1
dV-SUB	1	4

^b LA8 は 1 出力あたり 3 x X8 をドライブできますが、高出力を使用する場合にはコントローラーあたり 8 x X8 が最大となります。

*パッシブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するエンクロージャー数です。アクティブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するセクション数です。

LA12X アンブリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数

接続するエンクロージャーの総数が、コントローラーあたりでドライブできるキャビネットの最大数を超過していないことを確認してください。

1 台の LA12X に対する同軸エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
5XT	6	24
X8	3	12
X12	3	12
X15 HiQ	3	6
8XT	3	12
アクティブ 12XT	3	6
パッシブ 12XT	3	12
115XT HiQ	3	6

1 台の LA12X に対する定曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
ARCS Wide / ARCS Focus	3	12
ARCS II	3	6

1 台の LA12X に対する可変曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
Kiva	3	12
Kiva II	6	24
Kara	3	6
K2	3	3
K1	2	2
K1-SB	1	4

1 台の LA12X に対するコリニアソースエンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
Syva	3	12

1 台の LA12X に対するサブウーハーエンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
SB15m	3	12
SB18	3	12
SB28	1	4
Syva Low	2	6 ^a
Syva Sub	3	12
KS28	1	4

^a LA12X は 1 出力あたり 2 x SYVA LOW をドライブできますが、高出力で使用する場合にはコントローラーあたり 6 x SYVA LOW が最大となります。

*パッシブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するエンクロージャー数です。アクティブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するセクション数です。



112XT、115XT、MTD シリーズ、ARCS、dV-DOSC、KUDO、V-DOSC、KILO、SB118、SB218、dV-SUB の最大接続は LA8 の表を参照してください。

